

遠西草木譜 二十

種二芽 ヤロイ子ロハ 辛拿



廿九章

シノエイレホ

葛藟

ニハヤシギ



廿八章 種一芽

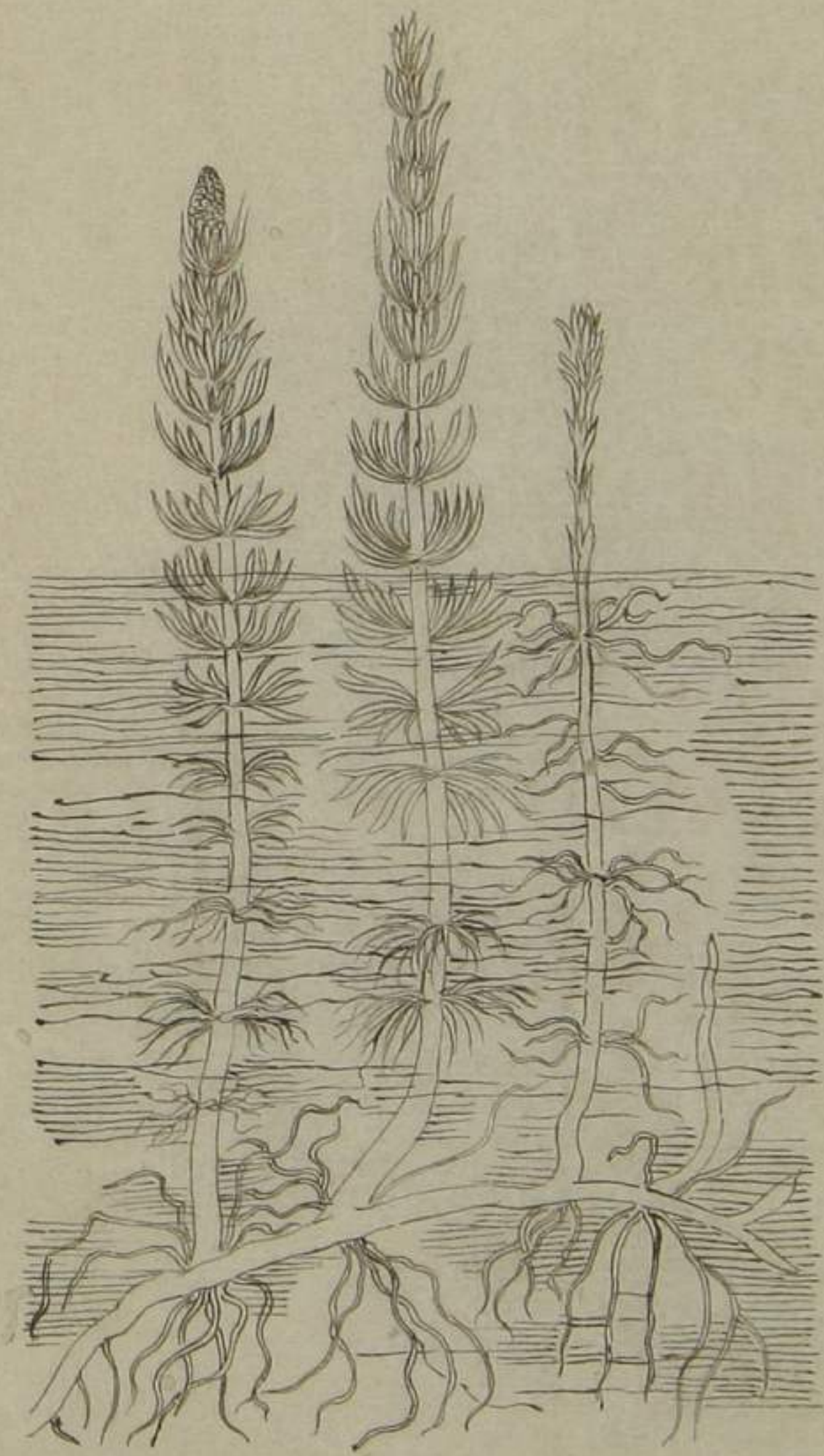
草薺 イヌハゼ



三十一章
ヤリアニルハ
地錦
三十一



三十二
種二第
廿九章



アノコ
ノミ

トイロコイロフ

三十一草



上
四
乃
々

州
三
草
二
種



世二章
種二第



純名州
キニシロ
根身下

ドイロゴルゲレヒクイヘ

世二章



三十二子凡種

種四第廿草



只

種三第廿草



三十二



オ二十八章

ハロ子イシヤレノ二種

品類

此草二種アリテ其相似タル為ニ兩種トハロ子イシヤレノ名ヲ冒ラシム

形状

オ一種即尋常ノハロ子イシヤレハ一小草ニシテ其葉是
小ク幅ハサク廣ク恰モニユールレノ小葉ニ似タリ其間ヨリソ
根ヲ生シ小ク又甚弱クノ又 知差ヲ生シ直立メ大抵三四
寸花ハ脇枝ニ生メ其色ヤク白ヲ帯ヒ花謝リ名ハ圓
ヲ小サリ扁ナル小子ヲ括フ許多微細ノ鬚アリテ以テ

草産

其根ニ代フ

別種ヲ才ニ種ノハロ子イシヤトス亦他草ニテ其葉具小

ニ刻セルカ為ニステルキリ一ケンデハロ子イシヤトシク似テ

其莖直立ナク高短ヤ花腋枝ナシ其莖上ニ小白花ヲ生シ

後小茎ヲ出シ子ヲ其内ニ結フ根ハ弱細ニテ小ナリ

出方 才一種モハ石破壁ノ邊乃砂多キ田畠ノ

端ニ生ス〇才二種モハ鳴瀝ノ地及石地ニ生シ又能

壁上ニ生ス

時度 才一種ハ孟夏ヨリ深夏ニ至テ盛ナリ才二種ハ春

地上ニ萌芽シ華テ速ニ長シ夏ニ至テ其熱氣ニ依テ

乃消散ス

名義 才一種モハ今或人ニテハロ子イシヤトシテ充レトモ

是其真物ヲヨク知ラサルナリ何則チヨクテス曰

ハロ子イシヤトハ小木本草ニテ状ハハロ子イシヤトス或ハロ子イシヤト

ルキニ似テ稍大ヨリ微小ニシテ葉ハ大ナリト也元今我

記セル処ノ尋常ノハロ子イシヤトハ本本株ニテ直立セズハロ子イシヤト

ノ如クイレ氏其ヨリ小ニソノ葉モ亦大ナラズ〇オニ種モ或
人之ヲハロ子イシヤト云ヘ氏チヨスコリテスレカモニ載ルオ一種
ノモノト僅ニ相似タルノミ

性功主治

二種 氏ニ其実説ヲ得ルヲアタハス

附左

「マツチヨリユス」ハ「アンテイルリユス」ノ一種ヲ記メテ

セ「アンテイルリユス」ト云テオニ種ノハロ子イシヤニ充テタリ

「イタリヤ」ガ「アチヤンテユムアルビユム」及「カピルリユス」ヘ子リスレノ一

種ヲ真ノハロ子イシヤニ充ツ

「スパンセ」ハロ子イシヤ 是ハロ子イシヤノ一種ニメ大學生士「ロリユス

クルシウス」之ヲハロ子イシヤヒスパ「カ」ト云 是「イス」ハ「ヤ」ノ「サ」マカ

ニテ 真ノハロ子イシヤニ充ルカ為ナリ 加之「クルシウス」ハ「ウ」

「ル」ケンスレノ本種ニ充テ、「ハロ子イシヤ」ニハ充テズ 今我「ル」ケ

ンスガラスレノ自餘ノ諸類ヲ説シカ為ニ次章ニ之ヲ記セントス

彼ハ小葉草ニメ許多莖アリ 莖節アリテ長ク地ニ這行

シ大根一「スパン」子レノ莖ガ「ニ」或ハ一尺許又為ヨリ長キ

「モ」アリ 莖葉ヲ生スル「ル」ケンスガラスレ或「ド」イセントコ「イ」

如リ其嫩弱ノキニハ小ニメ綠色ナリ径久ニメ甘白ク
且ニ莖數ニ攢簇メカツフ及リイストノ如シ人其全草ノ
可憐ノ碎片鱗屑相聚簇スルヲ以テ以藉甚ノ美景
トス花ハ白クメ尋常ノ心ルケシカラスノ如ク碎片状ノ白
小葉アリテ夏間ニ潜着アリ且小ニメ殆ク見ヘズ子ハ
心ルケシカラス子ノ如シ根ハ多知メ柔ニ且白シ是多クカラ
マシカノ燥丘或ハ心ルセンレノトルメス川ノ渚ニ生スルフランスノ
アリイストニアレテ稍小ニメ其穂キ一掌許和蘭ニハ処ニ

他如ノモノ、如ク白カラス五月其華キ七月子熟ス切ハロ子
イシヤト同カラスノ心ルケシカラスニ近シ其味ニ甚似タレハ
其種類ト見ヘタリ○心ルシヤ^人イスト^ハニヤ^シ諸^ニテ^アス^ア
リルラト名ク此其葉ノ乾燥ノ液汁ヤク之ニ觸ルニ^ニ粗糲^ナ
ルカ^ナナリ

名義 ^心ロー^ベル^ガ ^心ロ^子イ^シヤ^ノ 第一種ヲ^心ロ^子イ^シヤ^{アル}シ^子
ホルタト云ハ是ハ^心ロ^子イ^シヤ^ニノ^心ユ^{ール}シ^ノ 葉アリト云ノ義ニ
オ二種ヲ^心ロ^子イ^シヤ^{アル}テ^心リ^コタ^ツコ^ホリ^ラト云ハ是ハ^心ロ^子イ^シヤ

ニフコイテノ葉アリト云フノ義ナリ

主治 此二種ハ真ノ向子イシヤニ充ラズトヤシテ「ト子ウス」

ハ其切知ヲ載セスカレニユス「云」此草気気細微ニ燥シ生ク

刺戟ヒス畢竟其子一ターゲルスヲ治スルカ為ニ其花ハロ子

イシヤノ名ヲ冒ラシムト「〇」マツテヨリユス「カ」記スル処ノ多色ナ

ルモノ又「ターゲルス」ノ諸患ニ其自ナリ就中屋上或古壁ノ上

ニ殖スルモノ用テ多分佳ナリトス「ト」ハ子ウス「向」ハロ子イシヤ

ニハ布レリ

オ二十九章 **ホレイゴノシ** 一名「トイセントコノープ」諸種

品類 「チヨスコリテス」ハ「ホレイゴノシ」ニ種ヲ記メ其「ラ」雌性

トシ又其「ラ」雌性トス

形状 オ一種ノ「トイセントコノープ」一名「ホレイゴノシ」之ヲ雌性

トス地上ニ這行シ許多ノ細弱ナル「レイ」ス「株」ノ枝アリテ

夥多ノ刺ヲ分利シ其ヨリノ條葉ヲ生シ「シ」トヤンスコロイト

及「ケ」ルテ「レ」イテ「即」ヘイペリコシ「葉」ヨリハ「セ」ク「秋」シ其「結」節

ヨリメ微小ノ花ヲ出シ其花ニ接シ子ヲ結ブ根ハ細長ク

高書

鬚ナクノ其色白ク又或ハ赤色ヲ帯ルモノアリ

オニ種ノ「ドイセントコノープ」一名「ホレイゴ」ニ雌性ノモノト

ハ全ク似ズ殆ント「ヘールトステールト」ノ種類ニ近シ何則其茎

直立シ中虚ニテ高チ一尺許ニ「ヘールトステールト」ノ如クテ

ト氏之ニ觸レハ平滑ニテ粗堅ナラズ而シテ節相重リ膝蓋

ノ如キモノヲ分利ス葉ハ莖狭ク赤ク子ボロムノ如ク其小

膝即結節ヲ環リテ羅列シ柔ニテ其色緑ナリ根モ点

節アリ諸部ニ分利シ遠慮ス

三三

出方

雑性ノモノハ不耕ノ地ニ生シ五、道路、環着シ

布蔓ヌ又水流ノ邊ニ這行ヌ又「ヘ子」ヤ「海邊」ニ近キ処

ニ生スル者ハ其葉美ニテ大ナリ又一種其山上ニアリテ諸種

ヨリ甚小ナルモノアリ之ヲ極最小ノ「ドイセントコノープ」ト云フ

○オニ種雌性ノモノハ下濕流水ノ地凡テ川山岸ニ生ス

時辰 オニ種ハ終年緑ニテ冬ヲ除クノ外華キ子ヲ保ス

オニ種モハ夏中ニ非ルヨリハ未嘗テ見ズ且甚ク

稀

名義

オ一種ノモノヲ「ギリシヤ」ト云フ
即チ「ラテン」ノ「ホレイゴニウム」ト云フ義ナリ又「カルリゴニ」
氏云「ホレイカル」ト云フ「ラテン」セミナリス「サンギユイナリヤ」
ト云フ「リユメルラ」ハ「カンギユイナリス」ト云フ「オ局」セシキユムノ
「ヤ」氏「コルリギヨルス」氏又「ホレイゴニウム」氏云「和蘭」ニ於テ
「ルケニスガラス」ト云フ「ドイセントコノ」ト云フ「コリユ」ベル「ガラス」ト云フ
「ドイツラ」ト云フ「ワクガラス」氏「ワクデリット」ト云フ「フランス」
レノ「ヘイ」コルリギヨレト云フ「イタリヤ」ト云フ「ホレイゴノ」コルレ「ダギ」

ヨラト云「イスパニヤ」ト云フ「コルリヨラ」ト云フ「エンゲルス」ト云フ「ロノ」ト
「ガラス」ト云フ「ベームス」ト云フ「キユリユスカウ」ト云フ「オ局」ニ於テ
「雄」ヲ分ク「ラヤ」ト云フ「ラ」ト云フ「ドイセントコノ」ト云フ「マン」子「ケン」ト云フ
「ア」ト云フ「ユレ」ト云フ「ラ」ト云フ「プロセル」ト云フ「マカ」ト云フ「是」其「ク」ト云フ「地」上「ヲ」
「ナリ」但「シ」ア「ピレ」ト云フ「カ」ト云フ「ギリシヤ」ト云フ「語」ヲ「以テ」名「ル」也「ノ」異「名」
「尚」多「シ」即「ホレイ」ト云フ「ン」ト云フ「ケイ」ト云フ「カレ」ト云フ「ヘラクレア」ト云フ「ア」ト云フ「ハ」ト云フ
「シ」ト云フ「ヨ」ト云フ「ヘイル」ト云フ「ケレ」ト云フ「カ」ト云フ「ル」ト云フ「子」ト云フ「ト」ト云フ「ペ」ト云フ「メ」ト云フ「リス」ト云フ「メ」ト云フ「ール」ト云フ
「タ」ト云フ「ロン」ト云フ「ゴ」ト云フ「ホ」ト云フ「チ」ト云フ「ヨ」ト云フ「シ」ト云フ「カリ」ト云フ「テ」ト云フ「ヤ」ト云フ「ベ」ト云フ「ダ」ト云フ「リ」ト云フ「ヨ」ト云フ「ン」ト云フ

オニ種ハ和リシヤシニ「ホレイゴノシテレイ」ト云フテ「ホレイ
コニムヘミナ」ル「サンギユイナリスヘミナ」ル又「黒名ノヘミナ
リス」云是「無実ノ草ナレバ」サードコロイト「ト云ノ義ニ
某局ニテハ此草ノ種類ヲ和ガルバタメニ名目アル
ナシ尚此外ニモ「ホレイゴノシ」ノ名ヲ冒ラレルモノ数多アリ
リトイハル今吾記スル処ノモノトハ甚異ナリ吾「リュウヤ
一名「メー」レノ部ニ記スルカ如シ

性質 和レシユスシ云「收斂ノ功アリ但シ寒湿著大

其実オニ度ヨリニ度ニ至ルト

主治 和ヨスコリデス云此薬汁ヲ服スルハ濃厚ニシ

消涼ニス〇又吐血ニ良ナリ〇又諸痢疾就中コレラ
ニ良ナリ又膽汁崩溢ノ吐シ或下部ヨ大河スルヲ治ス
〇和ヨスコリデス又云尚淋疾ヲ治シ小便ヲ利スルホノ功
アリト〇ガレシユスニ同ク此ホノ病ニ良ナリトナシテ別意
ヲ加ヘズ〇此薬汁ヲ酒ニテ服スルハ蛇咬ヲ療ス〇又
熱毒ノ前ニ當テ「ブレイ」服スルハ其熱綿引シ或

再發スルコトナシ○又エヨリ貼ノ如人ノ帯下ヲ治ス○又
之ヲ背中ニ注ゲハ速ニ其痛ヲ治ス○又酒或は蜜ヲ以テ
煮用ルルハ傷部ノ一痛ニ大功アリ○此ノ葉ヲ胃ノ焦熱
及吐血利痰及ホールトヨイペンデセーレンシウイルトヒールローセ
ロトホントシ燠熱腫濕瘡新癩ヲ治ス宜ク其上ニ貼ヘシ
○雌性ノモノハ收斂清涼濃厚ノ功アリ其功ハ雄性
ノモノニ如カズ

附左

オ一種ノトイセントコノープハ和蘭ニ都テヘルケス

カラスト云又ドイツノ其地ニ從テウヰクガラスト云是
其多ク道傍ニ生スルカ為ナリイタリヤシハスセリヤシ
セントノヂル云ノ葉ハ或ハ全ク微赤ニ又ハ死灰色ナリ其
葉間ニ結節アリ子ハ微赤ニソルケル子ハ似タレハ稍
サク堅ク且或ハ時ニ小草ノ子ヨリ大ナルコトアリ○此多ク
六月華クワルス子ニテラレトシニテハ之ヲマリオレイ子ト云
キユ子ト云是守園ニ多ク生スルカ為ナリホルトガールシ
レヨヤト云イスパニヤシコルレヒューラト云○オニ種ノモノハ

稀ニ之アリ是ハ「ルトステールト」ハ其形懸陽セス是
西脇南芽ナク葉ハ蔚ノ周回ニ曰生株ニ生ノ赤ハ「子ガ」
ニ甚似タリ根ハ白ク許多ノ枝及芽ヲ齧シ多クハ九月
之アリ是「ドイセンコノ」^プノ異名ヲ「ホレイゴナト」^ンノ語ヲ附
スト 籬凡「ホレイゴナト」^ン「ト」^ホ「ホレイゴノ」^ン「ト」ハ別種ナリト「サロ
ン」セーケル及「メー」^レノ云ニ載スルカ如シ「〇」^ヒ「ル」^オ「子」^イ「モ」^タ「ラ」^ギ
ユスレハ之ヲ「ス」^ピ「ユ」^リ「ユ」^リ「イ」^レ「凡」^又「ホレイゴノ」^ン「レ」^云

「雄」^性「ドイセンコノ」^プノ諸種 「ド」^ッ「子」^ウ「ス」[」]云此草種類多

「ト」^イ「凡」^其「形」^状ノ差違スル所以ノモハ是其地勢ノ
異ナルガ為ノミナリト今我好草家ヲメサク其片膜

ヲ飽カシメシカ為メニ之ヲ論セ

オ一種「ゴ」^ト「セ」^ー「ウ」^エ「キ」^ガ「ラ」^{ス」}一名「セ」^ー「ド」^イ「セ」^ン「ト」^コ「ノ」^プ「ト

云「ド」^ッ「子」^ウ「ス」[」]云此草「」^子「子」^ヤ「レ」^ノ海岸ニ生スト「〇」^ロ「」[」]

云「ラ」^ン「ギ」^ウ「ド」[」]ノ海濱ニ生スト是其大ニ且美ナルト他草ニ

異ナリ葉ハ「ロ」^イ「テ」[」]葉ニ似テ白ク透明ニシテ節ニモ白花

ヲ生メ「ガ」^レ「ガ」[」]及「セ」^ー「ホ」^ル「ケ」^レ「イ」^{子」}ヨリサク大ニ長ク且條色

ナリ根及蔓ハ多クハ這行シ依リ乾砂ノ地ニ布蔓
シ全草白色子ハ結節ノ透白ナル「ブラリスケンス」中ニ
アリ味ハ鹹ヲ收斂ス「ベル」之ヲ「ラテン」ハ「ホレイゴニユ」
「マリユム」マクシ「ニユム」ト云

オニ種ヲケハレイズ子ウウツトベルガウリカラストニフ
ガレニユス云此草最初「記スル」ト「イセ」ト「コノ」
種ナリト「胆」レ「瓦」今予之ヲ「ハロ」子ー「シヤ」ハ「ロ」ト名ルカ為ナリ「ロ」ー「ベル」ハ
モノハ或之ヲ「ハロ」子ー「シヤ」ハ「ロ」ト名ルカ為ナリ「ロ」ー「ベル」ハ

ハ「ロ」イ「ゲ」ント「レイ」キ「ト」テ「ラ」テン「シ」ハ「ホ」レイ「ゴ」ニユム「モン」タ「ニユム」
ユム「ミニ」ニユム「ト」云テ其大カ潤サ及透明ナル「甘」カ別ナリ

オニ種ヲ「ラ」ニ「ゲ」ハ「レイ」ン「ウ」キ「ガ」ラ「ス」メ「ット」ブ「ラ」ー「テル」ス「ハン

キ「ユ」ン「テ」ル「ト」云此草「ル」リ「ヤ」レ「ト」氏ニ次「音」早ニ「説」カ「ン

ロ「ー」ベル「シ」ユ「ラ」テン「シ」ハ「ウ」ラ「ホ」レイ「ゴ」ニユム「アル」テ「リ」ユム「ピ」シ「ル「ロ」ヘル「シ

キ「ユ」ラ「ト」セル「ヘ」イル「リ」オリ「オ」レ「ト」云ト又云此草「アル」フ「稀」シト

是ハ小枝ニメ「オ」ノ如ク弱キ茎アリテ「キ」ユ「ン」テ「ル」及「セル」ペ「ール

リ「ユム」ニ似モク地上ニ蔓シ「ア」ロ「ヘ「ン」セン「シ」海濱ニ多ク殖シ「結

節ヨリ小葉ヲ出ス鐵々ニノ圓ク液汁盈テ小ドングル
バルト^ト及ミューペ^ルノ如ク元^ノ形ハ我徒^ニ祜^ル処ノ
小テイミユス^レ似タリ根ハお^キク^クノ木ノ如ク味^ハ熱^シサ^キ辛^シ
○諸本草ノ左ニハト^コ子^ウス^レノ次^ニ草^ニ記^セル^カナ^リ也
ラ^ハテ^ホレ^イゴ^ンレ^ノ種^類、能^ク比^類トス

主治

此草ノ諸病ニ甚^ク祜^スル^其功^自餘^ノ物[、]勝^レリト
ブラ^カホ^ラレ^及其^他古^衆醫^ノ説^ク処^ノ如^シ○此草^諸傷^損
損ノ久ク吐血アルモノ其功^尤爲^ヨリ良^{ナル}ハ無^クキ^ノミ

○此草汁^自ニ注^ク片^ハ翅^ハ其^疾痛^ヲ治^スル^ノミナ^ラズ
凡^テ其^瘡瘍^及多^膿ニ良^ナリ○或^人之^ヲ燥^質ノ物^ニ
ニ充^ツ○此草^單味^服ス^ル片^ハ大^便ヲ^利シ小^氷ヲ^通シ^諸ノ
シ^ンキ^ンゲ^ンヲ^障止^ス○ア^ピユ^レウ^スニ^云コ^ロセ^ン油^ヲ和^メ毎^ニ
貼^スル^トキハ^脇胸^ノ痛^ヲ和^{スト}○此草^ノ葉^ヲツ^キボ^トル^レ
ヲ^和レ^乳上^ニ貼^シ保^持三^日ス^ル片^ハ乳^瘍ノ^疾ヲ^散ス^ルレ^ト
甚^ク良^ナリ○此草^汁ヲ^コレ^ンス^ペル^スセ^ル七^或九^箇ヲ^以テ
服^スル^日四^日止^ス宜^具其^熱ノ^未ラ^{ント}ス^レ前^ニウ^テ服^スヘ^シ

○アピユロウス云此ソ子、本曜日、摘ミ以テ男子ノアフカイン

陰痿

ニ用テ下血レ死如此ノ考ハ吻合セルヲ多キモノナリ○又虫蛇ヲ殺

シ熟尿ヲ利ス○此草ノ露水或煎汁ヲ服スレハ結石ヲ散ス

ルニ大功アリ○此子ノ葉ヲ酒ヲ以テ服スレバ翅ニ赤利ヲ治

スルノミナリ又婦人ノ帶下ヲ治ス○此草ノ汁ニヘスシユスレヲ和

婦人ノ穢中ニ啜スル片ハ翅、月経ヲ止ルノミナリス、其不信

ヲ治スモ方之ヲ鼻中ニ刺セハ衄血ヲ止ム○此子ノ根更蛇虫

燻ノ瀾ニ加之閉塞ヲ開達シ結石ノ已ニ固乾シタルモノ或

飲徒スルスモ形之ヲ治ス○此草汁就中萬銀ノ瘡瘍、

良ナリ○此草ヲ太陽煎ニテ顔面ヲ美シテ且班点及皮膚

ノ眼中ニ生スルモノヲ治ス○此等ノ外ニ尚其功ヲ證セント欲ス

レ凡冗長ニ涉ル且前ニ數件ヲ説クカ為ニ斯ニ略ス

比沙
ニミチ子

オニ十章

「ヘルリアリヤ」即「ドイセントコーレン」及
「カナウエル」

品類

此章ノ「ヘルリアリヤ」及「カナウエル」モハ「前ノドイ

セントコープマン子」ノ種類ニ算入ス

形状

「ヘルリアリヤ」一名「ドイセントコーレン」及「ドイセントゲレイン」

モハ「ドイセントコープ」ノ種類ニシテ「小草」ニシテ「ドイヘルスメルク」

一名「カメセイセ」ト似テ「依」ク地上ニ即シ「茎」ク細ク「弱」クシテ

彼是「蔓」延シ「莖」節甚多ク「關節」小「膝」ノ如ク其色

赤シ葉小葉ヲ生スル^テテイム^ル如シ花^ハ白^ク小^シノ^ハ黄
或ハ白花ナリ子^ハ赤^ク之^ハ適^メ小^シ其^ハ聚^ル簇^{スル}葡萄
ノ如ク其^ハ諸^ノ茎^ハ保^ル滿^{スル}カ^タメ^ニ其^ハ茎^ハ節^ト之^ハカ^タメ^ニ
隱^トス^ルカ^ハ如^シ根^ハ深^ク土^中ニ^入ル

オニ
外^ニ又^ハ一^種今^時ノ^本州^家モ^ハ同^クイ^セト^コノ^プ即
ホ^イゴ^ノシ^ハ充^ルモ^ノア^リ其^ハ高^カ一^掌ニ^メ又^ハ其^ト同^等ノ
高^カノ^許多^ノ枝^ヲ節^中ニ^分蔓^シ其^上ニ^又脇^枝ヲ
出^シ夫^ヨリ^ノ小^シノ^秋キ^ノ葉^ヲ生^シ其^ノ葉^ノ芽^ヨリ^ノ又

カラ^ス色^ノ小^花ヲ^出ス根^ハ細^長ニ^テ鬚^多シ^全草^諸
茎^ノ花^ハ凡^ク之^ハ望^メハ^白シ

出^方 ^ハル^ニア^リヤ^レ一^名ド^イセ^トコ^ーレ^シハ^好テ^不耕^砂

地^又ハ^濕地^ニ生^スレ^バ又^ハ陽^氣透^徹ノ^地ニ^生ス
オ^ニカ^ナラ^ズル^燥砂^ノ地^ニ生^スレ^バ尚^好テ^濕潤^ノ地^及
水^傷ク^地ニ^生ス

時^度 オ^ード^イセ^トコ^ーレ^シハ^六七^月ノ^以ニ^十分^ニア^リ

オ^ニノ^好テ^潤時^ニ生^ス

名義 第一種ノモノヲ新本草家ヲテシヘルニアリヤ或

ヘルミオラト云フハ其賜ノ損傷ヲ治スルカ為メナリ又ヘルミ

トルカト云云或其子ヲ多ク保スルカ為ニシルガナリト云フ

和名ニドイセントコーレンシ一名ドイセントゲレイシト云フラシ

ニボウト子ト云又ホレイゴノイテスト云フハ其形状ノ

ドイセントコープシ一名ホレイゴノシハ似タルカ為ナリ然

レモアリニユシ一種ノホレイゴノイテス一名セレマリスエゲキ

プシヤルモノヲ記セリ此草トハホミ異ナリ

オニ種ノモノヲホリゴドイツシカナウセルト云フテ外ニ名

目ヲ知ラザレハ又外ニ一ニノ名目ヲ施スベケレモ暫ク

ホレイゴノシ或ホレイゴノイノ名ヲ以テ一切ニ之ヲ呼ノク

性質 ヘルミアリヤレハ劇甚ク燥スヲ以テ人金創ヲ醫

合スルニ好ナシ

主治 此子一ニノ飲料ヲ以テ服スルハ其賜ノ損傷及

自餘此等ノ病ヲ愈ス功アリ○此子ノ末酒ニテ服

スレハ便澁ヲ通利シ点有ノ結石ヲ摧テ速カニ

利下セシム

附考

或人此ヘルニアリヤラシテホレイゴノシレ名ドイセントコノ

トブレノオニ種ニ充ツ就中イタリヤ國乃ホリホス其処ニ

テハ翅ニヘルバトルカト云ノミナラズ尚之ヲコレギオラミノレ

凡云フコレヘルハ「アンギユイルラ」ノ「エロバクメ」メラキユスカ

エムベトリユム或ハコレキユスレノ「シルレガラナ」ニ充ツ「マツチヨリユス

トモエラ」ホレイゴニユムニユスレト云又イタリヤシ語ニ「セシガラナ」

トモエラフ

極サノヘルニアリヤ

此草「コレベル」ハ「シルレガラナ」ニマレト云「ドイツ」

ニテ「アルデル」ミンステドイセントコノ「レ」ト云此草ノ花并ニ其ツ

子ノ許多ナルフハ「ランギウ」トク「ノ」セ「イ」アンテイルリユス「ニ」其

似タリ葉ハ最ホ「シ」ニ「ル」ノ如クナレ尺尚狭ク茎ハ数多クノ

腸枝アリテ高サハ「二」ドイム「レ」或ハ「ル」メ「テ」リ凡ノ砂多キ畑

ニ生シ又和葉中ノ地ニモ生ス或人ノ之ヲ野生ノ「ス」ペ「リ」

ト名ク葉用ニ供セズ

「クル」シ「ル」及「プ」ラ「ツ」カ「ン」アン「テ」イル「リ」ユ「ス」ハ「レン」チ「ナ」

此ト子ヲ種類

トナスミハ是是ルニアリヤシニ程に似たりアルカ為ナリ
カレシウスレノ言ニ曰一根ヨリノ許多ノ枝及芽ヲ出ス其リ
スバシ子」モク地上ニ這テ許多ノ脇枝アリ其色赤色ヲ帯
ソ葉ハリンセンシ葉ニ似テ其枝モ亦與リ僅少ノ塩氣アルモ
或ハ塩水ヲ布展スル中ハ其ノ味亦塩氣アリ其葉間
ニ四瓣ノ小花ヲ生シ色白紫根ハ單獨禿色サシ黒シ
○此草モトハイスバヤシノハレンセンニ生メサエニテ四月初
ニ殖スルモノナリカレシウスレハワヲアンテイルリユスノ一種トハスレ

此自立ノ枝アレハ真ノオ一種ノアンテイルリユスニハアラズ
但是州ニ長ク墾ニ這テ形状カマヘイセシニ似テ但乳
糖ノ汁ナキノニ

ホレイゴニムヘルニアリヤ」ローベル」云此草亦小草ニシテ地上ニ
平這シ半ハ地中ニ没入ス枝ハ節節甚ク夏ヨリ白キ
葉及小サアライケンレヲ出メヘルニアリヤニ似たり全草ハ微
赤色ニシテ甚小ノモツス」株ノ小花ヲ甲キ根ハ其ノエイスヨリ
大ニノ葉ク多枝網ノ如クニ纏ヒ纏還スルヲ以テ抽出ニ難シ

味ハ甚燥キサク熱ス見テアコヘンシシト生シテコルテユシユスガ
送ルルノ印度州キユババカノ功アリラクセルト云セシナシ
葉ニ似タリト

主治

オ一種ノヘルニアリヤレハ蝮蛇及自餘ノ毒蟲咬傷
ニ甚効ス内服外用ス胆ルニドツ子ウスレハ損傷ニ膏ノ
如クシ脂ノハ自ラズトス○此露水服スレハ目スルキハ閉塞ヲ
開達シ黃病ヲ治スレハ妙ナリ○其銛石ヲ治スレ見ニ如ク
モノナシ○此葉ノ末嚏ヲ吹テスレハ功アリ○又膀胱ノ石ヲ

推ク宜ク三分三厘ツ、多日服スヘシ○子ハ虫ヲ殺ス
オニカテウエルハ其功甚審詳ナラス人其性ヲ涼ニ燥
ナリトス是以或人「ウエキカラス」一名「ドイセントコープ」主
治ニ甚似タリトス○或學士ノ發明、カテウエルノ露水
ハ小水、快利セサルニ目取アリ是屢試ルルナリト

才三十一章 フロイコイトト一名フセイリス

或説ニ上徳西郡
方言アラハナ
尚可有

形状 草大ニ蕃茂ノ其茎甚細弱又毛苗アリ

高亦大抵一スハレ子ニ葉ハ細長ニ狭ク毛アリテ形甚

昂ヤイプレスシ葉ニ似タリ其枝ノ上稍ヨリメ啞截多キ

コツプレスシアリテ鱗屑ノ相保スルカ如シ夏ヨリメ微小ノ白

花ヲ出シ柔毛アリテ秋葉ノ如キブレシト殆ント似タリ

花後黒クフン輝ア子ヲ結フ其色乃大ニフロイシ

ニ甚似タリ根ハ白クノサク包アリ

出所 此ノ子野外及久耕ノ地自興生ス種殖スルモ
ト生ス若クハ一丈ニ種レハ年々蕃茂ス之ヲ種ルニ其地利
由テ美豫トシテ就中海岸近キ処ヲ自ナリトス他処ニ種ルモ
ノハ小ニシテ且其蕃茂セザルナリ

時辰 八月末ノ子熟ス乃摘カスルニ最宜シ

名義 和名ニフロイコイトト云フトイフシ、フセイリエカラウ
元「フロエカラウト」ト云フ「エゲルス」ニ「フレ」ウラトシテ「フラス」ト
「ヘルベテス」ユルセト云フイナヤシ、フシルリヲト云フ「スバヤ」

「シガトナ」ト云フ名氏ニ本ナリシヤシク右「フセイリ」ヨリ来
ルモノニテ「屈」フロイコイトト及「其子」前ニテ如ク「蚕」ニ
相似タルカ為ナリ何則「ラ」シ「ミ」之ヲ「ロ」ユリ「カリヤ」又「ヘルバ」ユ
リ「カリヤ」ト云フ「ロ」ユリ「カリヤ」ト云フ「コ」子「イ」サ「レ」名ナレバ「葉」店「ハ
フセイリ」ユル「ト」云フ「テ」云フ「通」稱「ト」ス

性質 「ガ」レ「ニ」ユ「ス」曰「此」草「ノ」子「オ」ニ「度」ノ「涼」ニ「潤」燥「其」中「ヲ」得
タリト「ア」ヒ「セ」シ「ト」曰「ニ」度「ノ」潤「ニ」且「涼」ナリト

主治 此草ノ子ヲサク搗テ水ニ浸シ粘氣アルヲ度トシ

用ハ諸燼熱ヲ和シ熾盛熱ヲ緩フシ又能口中大ニ燥テ
湯スルヲ治ス又口中ニ管傷スルヲ一時スルハ舌ノ糙ムヲ柔
ケ又内臓及腸中痛ノ醋液ヨリ發スルヲ和シ又赤利及
腸ノ腫瘍ニ大ニアリ○此水前症ヲ治スル中ニモ赤利及
腸瘍ニ最宜ナルハ其水浸ス前ニ當テサク焙スベキナリ
○右水又腹中ヲ和緩シ大便ヲ快利ニ宜ク其申ニ砂
糖或ハオレンシノエレッポヲ加フヘシ又其エレッポ或ハ
ロープニサク精製ノ紅玫瑰ノインスツシーレヲ加テ最宜

依テ此水思性乃熾盛熱ニ大ニアリ○此水子ノ子或是
粘滑ナルモノヲテシニ「ユツカゴ」凡「ユツシラゴ」セイ
凡云小兒腸ノ損傷及臍ノ突出ヲ治ス宜ク其水ニ貼ス
シ又之ニサクローセン油ヲ加フルハ支那疼痛ノ風及ヒ
チ「バ」ナヘ痛等ノ難ヨリ来ルヲ治ス○チヨスヨリテスニ云身
ノ和リトシシ及腸腫所謂「ハロ」テス及指水液腫凶挫
及多骨疽ニ大ニアリ○セラロオンニ云此草ノ子或是
粘滑ヲ大腸ニ乾シ糖用ス

荷書

セラロオシユ此子多ク用フベカラス胃ニ害アリ之ヲ長服スルハ心神恐怖所謂ロインコーペヲ發シ顛倒矢氣ス山登天ノミナラシヤ之ヲ多服スレハ強ク死スルミ至ル是以良言却テ利ヨリモ多シトカリシヤシ醫士及アヒセシナシテヘリ

附考

斯ニロベルフロイコロイトノ三種ヲ載ス其ハ今トバ子ウタシノ記スル処ナリ其ニハセーフロイコロイトト名ク是海ノ沙邊ニ生メ之ヲ望ムニヤ一種ニ異ラガレ

肥厚ニメ其枝オ一種ノモ白クサク長ク葉ハ甚チク厚ク

毛アリテサク缺刻アリ子花元ニ切オ一種ニ似タリ○オニ種ハラシシフロセイリユムプリニヤユマユト云其茎小枝或

木柄ニシキ新葉及穂アリテ互ニ條記ニ地トシ遠草ニ之ヲ見ルニ甚チ美ナレ其質ハ粗シク白シ子ハ二種モ

ニ異ラガレ凡稍大ニ圍クモアリ其色或白或赤ク又或ハ紫色ニ變スルモアリ○ハレリユスコルヂユスハゴ子イサレヲ以テ

真ノフロイコロイトニ充タリトイワラントシテハフロイコロイト

二種トナスモノアリ終冬枯レズ是夏寒ニ能堪ユルカ
為。來年保留ス人之ヲラテシ。アセイルリユムヘレン子ト云

名義

此草ハイスバヤシニナルガトナシ一知ソルガトナシト云アラ
ビヤシ人ノ作レモナリ何者アヒセンナシト云バカラカトナシト
云テ自餘ノアラビヤシ人ハバセルコキユメト云ナリ

主治

此子ノ子ハ諸病ニ多用ユ之ヲ搗テ水ニ和シ軟テラ
レメ水気尽稍固硬ナルニ至テ即貯フ其清冷ニ熱湯
ニ注ケハ即其熱氣ヲ去ル依之ウイルトヒル及熱熱及膿

耳ノ聾ヲ夏中ニ生スルモノニ甚良ナリ○右ノ子油氣ア
物ノ中ニ入レ醋ニ和レ用テウイルトヒル及顔面ノ粉状折ラ
治スシヲ頭及前項ニ貼フ頭痛ヲ治ス又眼中ニ貼メ其赤
色ヲ散ス○此フロイコロイト之ローベルカオ三種ニ充
タモノハアリス及アルテリインノ未ト云ニ用テゲレコレリ
イケヒユメウレンヲ駆除ス○ローベル云此物アリニスカ説ヲ
勝レリト云其言ニ曰甚刺戟也ス艸木ノ乳脂ノ如クニニ
ウラルフスメルクシ一種ナリ之ヲアシユラト名クト其心ヨリ輸ス

毛環液ニテ乳ノ濃厚ハモノニ似タリ又此草及子ヨリ
輸スルモノハ「シリウス」之ヲ「ガム」又ハ「ルク」ト名テ廣説スルハ
其「ゲ」コレイケヒ「メウ」シテ下ス「屢試」ル也「今」到テ
醫人之ヲ「秘」ス○此子ノ露水ニニ滴「ス」ハ眼痛ヲ治
スル「良」ナリ○此子一草ニ「質」ナリ人此皮ト核トヲ「全」ク
ハ「互」ニ及「刺」ス何者核ハ「熱質」ニ「ヤ」シ度「燥」辛「刺」戟
ノ「發泡」ス約「ノ」之ヲ言ヘハ「毒」ノ一「種」トモ云ヘシ「其子」外皮ハ
「清涼」ニ潤「シ」テ「牙」ニ度「ミ」至ル○此子ヲ「サ」ク「烘」リ「醋」或「水」
スヘシ

或玫瑰油ニ和シ用赤利酒和シ甚良ナリ就中宜ク強種ノ
下割所謂「スカム」子ア「或」チ「アグリ」ジュム自餘是等ニ入眼
スヘシ

「シリウス」チ「アリュム」ハ「ン」○「アセイル」リ「ユム」○「葉」乃「ニ」テ「粘滑」ノモノ「ニ」交和シ
造ル「モ」テ「ア」レ「ク」チ「ユ」アリ「ユム」ト云「膽汁」稀ノ液ヲ「駆」ル是ハ「熾盛」熱
ニ大「功」アリ又頭痛及「膽汁」稀液ヨリ来ル「頭眩」ヲ治シ又「黃胆」
及「肝」ノ「燃熱」ヲ治ス「メ」シ「エ」ト云人ハ「三」葉ヨリ「六」葉ノ間ヲ用レ「凡」
強人ニ「非」ン「バ」用ル「ト」勿レト○若「古」上「熱」シ或「燥」ク「ミ」ハ「サ」ク

冰糖ヲ加ヘシ古クメ湯冷ナラシメ湯ヲ去ル○此草ノ汁ニ蜜ヲ
和シ蝕身ニ滴スルハ乃愈ユ○此葉ヲ搗キ古キロトシテ和シ
久患ノ瘡瘍ヲ治ス○此子ヲ古キ傳メ咳ヲ和シ咽喉ノ粗
トシテ分利シ且古キ乾燥及思胎ノ劇熱ヨリ返ラテ治ス
○此子蜜水ニ和シ前項及頸ノ傳熱ノ熱ヨリ末ニ頭痛ヲ
散ス○

殊用 此草或稱ノ曰象甲ニ置ハ登ラノ末リ且息ガラシム

撰修 此草ノ子ハ能熟シ氷ニ投メ具礎ヲ穿ツモノヲ上品トス

損害 此草ヲ用ルルニ意ヲ用エバハ宜ク極細搗シ又ハ末ト
シ至テ内服スベキナリ何者其細ニ搗ニ由テ其最内核ア
リ其核ハ辛穢刺戟ノ諸腸及内臓ヲ傷リ且ハ肝臓
及血ヲ刺傷スルナリ

「フロイコロイト」ヨリ末ル害ヲ治スルカ」此子ヲ多ク食ハ人ヲ害
ス宜ク先ツ其物ヲ吐セシムル適良ノ別ヲ与フヘシ其甚ク
アルモノハ則古酒ノ草味又ハ臭ニ茵陳ヲ加ヘ又ハ酒麩
相和セシメ僅ガク灰汁ヲ加フヘシ○此ラハ「白サク蔞羅」ノ

煎汁ヲ用フヘシグロ子シコリアンデレラ服シタルヨリ来ル処ノ
名ニモ良ナリト

○オニシニ章
ハイフヒンゲルコロイト

オニシニ章

ハイフヒンゲルコロイト

知類

往古テオフランスニシテチヨスコリデスハハベシタヘイト

一名ヘイフヒンゲルコロイトニ一種ノミヲ載タレバ新本

家又数種ヲ著ス今我具并知シ易キ処ノモノ四種ヲ

論セシ猶其上方ニ後テ大小形状ヲ異ニス

形状

オ一種ノモノヲ大ヘイフヒンゲルコロイトト云其莖

直立シ四ク高サ一尺半許又稍高キモノアリ葉ハ長

クノ周囲深缺シ毎ハ莖五葉ヲ附シ其枝上ニ黄或

手
他
種
未
標

白花の生スルヘリアミテミユム或ガクセリツキノ如クシメ
消散又止留セズ根ハ長ク漸ク光リ外黒内赤細影消
サシ然テ此種類ハ茎又就中葉ニモサシ
才二種ヲ尋常ヘイフヒンゲルコロイトハ儼クメ高カラズ
小葉アリテ又五葉ハ外テ其最上ハ緑ニ最下ハ白ノ
毛アリ茎モ亦如之花ハ多ク黄ナリ根ハ同長外黒
内赤乾クハ方茎トイルテイフラスニユスカ心タヘイル
コト即ヘイフヒンゲルコロイトノ各ニ説ケルカ如シ

才三種低卧ヘイフヒンゲルコロイトハ枝細ク地上ニ遠ク
茎諸方ニ塌曳ス葉ハ尋常ヘイフヒンゲルコロイトノ如ク
滑ク緑ニ花ハ小シク黄ナリ許多ノ細鬚具根ニ代ヘ其
茎彼是ニ結着又地上ニ蔓延スルヲ以テ此草ハ自
ラ蕃茂ノ大ニ殖ス

才四種即水ヘイフヒンゲルコロイトハ葉ノ大才一種ノモ
其似テ最上ハ肉脇ハ緑ニ最下ハ白或灰色ナリ茎ハ一
ノハシ子一或一尺許ニシテ其茎ノ上面ニ花アリ大抵二花

相接シ其色赤シ花后球形ノ子ヲ結ヒ衆子相集結
スルヲアールトベシイシニ似タレ凡稍暗赤ニテ堅シ根ハ細クメ
柔タル小鬚ニテ彼是ニ遠蔓ス

出所又オ一種ノモノハ大概イタリヤシ及ラシギウトクシテ
岸及コイレシ及自ニ生ス又東國ニハ森林及高潤濕
トナリル処ニ生ス其花白シトカロリユスクルシウスニ去ヘリコロベシ
云ハイタリヤシ、アペシシレ山ニアルハ其ツ花赤シト

オ二種ノモノハ和蘭及ホラドイッシ及処ニアリ園端庭

樹籬及土堤ノ他草ノ中ニ生ス

オ三種ハ多分園及自中ニ生ス

オ四種ハコイレシシ湮岸或出水ノ辺ニアリ

時辰 諸種凡ハ大概五月華クアリニス曰葡萄ト終

始ストアロヒユレウス曰八月根ヲトリ收メテ用ニ供スト

名義 此草ヲカリシヤシニベシタヘイルロント云ラテシニクインキ

正ホリユムト云葉乃ニテハ判リシヤシ又ハラテシニ名ヲ用ユ

アリニス云又ベシタヘテハ元カマセロシ元云フトホラドイッシ

ニ「ヒュンフヒンゲルカラウト」一名「ロエンフブラット」ト云「和名」ハ「ヘイフ
ヒレゲルコロイト」ト云「イタリヤ」ニ「シンキユエホクリヨ」ト云「エンゲルス」ニ
「シンタホレイ」ト云「ヘイ」ヘ「ヒンゲルカラスセ」ト云「アラレス」ニ「キユイン
テヒユール」ト云「イスパニヤ」ニ「シンゴエンラマ」ト云「アロヒユ」ト云
曰又「アラ」田名「カ」ヲ「ラテン」ニ「カ」ニ「ユスマルキス」ト云「ガリシヤ」ニ
「ペンタトモン」ト云「ペンタダクテイロン」ト云「ポセウトセリ」ト云「カルリ」ト云「各」ト云
「キセイロロ」ト云「キセイロ」ト云「ヘ」ト云「アスハルト」ト云「或」ト云「アスハルト」ト云
「ペンタクローン」ト云「テイ」ト云「ミヤ」ト云「チ」ト云「スト」ト云「ラフト」

亦一種ノモノヲ或人「キユイン」キユエホリ「ユム」ト云「是」ト云「是」ト云「大」ト云「ヘイフ
ヒレゲルコロイト」ト云「義」ト云「リ」ト云「ロ」ト云「ポ」ト云「カ」ト云「ラ」ト云「テ」ト云「ス」ト云「ノ」ト云「名」ト云「曰」ト云「糖」ト云「瘍」ト云「其」ト云「功
アリ」ト云「高」ト云「ク」ト云「鳥」ト云「殖」ト云「ス」ト云「之」ト云「ヲ」ト云「黒」ト云「ヘイフ」ト云「ヒレゲル」ト云「コロイト」ト云「ト」ト云「云」ト云「テ」ト云「切」ト云「ニ」ト云「黒
白」ト云「ニ」ト云「種」ト云「ノ」ト云「モノ」ト云「ヲ」ト云「著」ト云「ス」ト云「其」ト云「世」ト云「代」ト云「ニ」ト云「ハ」ト云「黒」ト云「白」ト云「ニ」ト云「種」ト云「ヲ」ト云「用」ト云「ユ」ト云「其」ト云「言」ト云「曰
白」ト云「不」ト云「フ」ト云「ヒレゲル」ト云「コロイト」ト云「ト」ト云「ヲ」ト云「取」ト云「リ」ト云「油」ト云「ヲ」ト云「和」ト云「シ」ト云「細」ト云「搗」ト云「ク」ト云「此」ト云「白」ト云「ナル」ト云「モノ
ハ」ト云「毛」ト云「多」ト云「ク」ト云「粗」ト云「糙」ト云「ニ」ト云「黒」ト云「ヨリ」ト云「ハ」ト云「方」ト云「ク」ト云「地」ト云「上」ト云「ニ」ト云「生」ト云「息」ト云「ス」ト云「猶」ト云「此」ト云「草」ト云「ノ
諸」ト云「説」ト云「アレ」ト云「ヒ」ト云「盤」ト云「况」ト云「ナル」ト云「カ」ト云「為」ト云「ニ」ト云「テ」ト云「耳」ト云「在」ト云「ス
亦」ト云「二」ト云「種」ト云「尋」ト云「常」ト云「ノ」ト云「モノ」ト云「ヲ」ト云「ラ」ト云「テン」ト云「ニ」ト云「キユイン」ト云「キユエホリ」ト云「ユム」ト云「アル」ト云「テ」ト云「ル」ト云「ユム

ヒユルギユルト云見は口ツボカラテス、黒心へイフヒンゲルゴロイトト
名ルモノト相筭ナ

才云種ノモノヲコラテシニキユインキユエホリユムシユヒンシユム又ハ
レイペンスルセルヘンスル云 臥塌へイフヒンゲルゴロイトト義ニ
才四種ヲコラテシニキユインキユエホリユムキユアリテユムト云即四
種へイフヒンゲルゴロイトトノ義ナリ フリニユスハ其云廿三卷中
十九章ニ口キユンシユスト云又六十六章ニハハレリヤニユト
云其云大アールトベシシレシト尚極揚スヘシ

性質 此草多分初ノ二種ヲ茶用ニ其燥劇甚才云

度ニ至レハ些少ノ刺戟ナレ何者軟著ノ草執ナシ

主治 此草ノ根ヲ煎シ其水三分ニ其ニヲ減シ口中ニ含

メハ齒痛ヲ和シ口中ヲ滌フキハ其腐敗患瘡ヲ拒リ又
其咽喉ノ腸腫及巴旦杏核ノ燄執ニ大功アリ○又諸般
ノ痢赤利ヲ止ムルニ大功アリ○此根酢ニ煮用ルキハウイルト
ロイル及浸淫瘡ヲ消除シ又諸ホリイレン及喉腫及寒
腫ヲ消シ神経息大ヲ拒ナリ及自餘寒濕ヨリ發ス硬腫

ラ治ス○又嫩根ノ汁ヲ取り用ルハ肺肝ノ病ニ大功アリ又
諸毒ヲ解スルニ大功アリ○テヨスコリデス日此草ノ汁ヲ一二
日價キ服スルハ黃疸ヲ治ス○又云此草葉蜜水或酒ボヲ和
シサリ胡椒ヲ加ヘ服スルハ瘧ヲノ再發セサラシム即四日熱ニ
ハ四枚ヲ用ヒ三日熱ニハ三枚ヲ服シ日復發スルニハ一枚ヲ与
フト凡ソ此等ノ説ハ皆是空論テヨスコリデスニナラス
尚衆學士之ヲ唱ヘテ此草ヲノ永ク無実ノ罪ヲ冒ラシム
是以我徒勸テ之ヲ禁止スルハ彼古ノ愚説ヲ以テ欺誣シ

草學士之ヲ唱ヘテ此草ヲノ永ク無実ノ罪ヲ冒ラシム
是以我徒勸テ之ヲ禁止スルハ彼古ノ愚説ヲ以テ欺誣シ
カ為ナリ

撰修 此初メノ二種ノニ葉用ス餘ハ功ナシ

附考 ドボ子ウスオ一枚ノニハ此草ヲ別ニ分テ

オ一種ヲヘシタヘイルロレリユテリュムマイユスト云是ハ
ヒレゲルコロイトラ義ナリオ二種ヲヘシタヘイルロレリユテリュム
ユスト云黄小ノヘイフヒレゲルコロイトラ義ナリオ三種ヲハ
シタヘイルロアルビユト云白ヘイフヒレゲルコロイトラ義ナリ

オ四種ヲヘシタヘイルロシリユブリユト云赤ヘイフビシゲルコロイト

ノ義ナリ堅シ凡其別ニ理アルカ為、后其分別ヲ變ス

オ四種ヲモノヲ水多キ処ニ見ル其子ヲ食フニ堅ケレトモ

其実状モヲ輸スフアルトベシイ、如シ其時トノ七葉

ノモノアルカ為、又セイシグラードト云ヘフタヘイルロシト云フ

猶五葉ノモノヲヘイフブライトト云ヘシタヘイルロシト云カレシ

エクスニルアクチフヘイフビシゲルコロイト 此草茎堅ク尋常ノモノ

ヨリ短クノ長ク一指ニ過ズ小葉アリ根ハ木根ニテ鬚多シ

リユピ子シシ葉之ヲフビシゲルコロイト 此草確地乾田ニ生ス

ナリシヤ、ヘシタヘイルロシト云フアテシ、トコエインキエホリユリユ

ピニホリユト云〇又或カニケルシツテヘイフビシゲルコロイト

ノ一種ニ免ルハ其ノ葉ノ五分シアルカ為ナリ

別種ヘイフビシゲルコロイト カリユスクリシウス、其虫異草譜

オ五卷ナニ書、此子ノ一ニノ種類ヲ載セテ其記ス

ル他故ナシトイヘ凡其著述ノ誠一アルカ為、斯ノ録ス

オ一種ヲヘシタヘイルロシマニスアルボフロイト云多クタノ一近辺ニ生

ス四五月華キ又或九月ニ至テ再々發スルコトアリ許多ノ葉
アリテ尋常ノミニ似タリ其小茎ニ至ルマテ分_レ五ス其
周回ハ缺刻ナケレズ其茎ノ最上方缺刻ス其最下
脇ニサク灰色ノ毛アリ其味始ハゴム_レ或ハツプ_レ凍_レ後
少ク苦味アリ其葉下ニ一二ノ細弱小茎ヲ芽出シ高
サ一掌地ニ依臥ス其上ニ三或四花ヲ出スルコト尋常ノ
ヘイフヒンゲルコイト_レ如クナレバ其色白シ花底毛状物相附
接スル一節節ヲ見ハシ扁子アリテポルトブルメンコート

ニ似テアールドベイン_レノ最初、相重積スルカ如シ根ハ堅
ク思シ自ラ相重蔓ノ許多ノ鬚根毛アリ
オニ種ヲヘンタヘイルロ_レフロ_レニニ_レ云_レ白^花小_レ花_レヘイフヒンゲル
イト_レノ義ナリ其黒根ヨリ許多ノ茎ヲ出シ灰色ノ葉ア
リテ前種ノ如シ其茎ハ細クノ地上ニ臥塌セス直立ノ其最
上ニ許多ノ花_レ出_レル_レ前種ノ如シ是ハ一種ノモノトハ思ヒ
悉小ナリ○此草ハ高礁或山上ニ生シ六月ノ季ニ華ク又
其山上ノ雪ノ消除スル遲速ニ從テ其ヨリ遲キコトモアリ

オニ種ヲ同シタヘイルリユムアウルコフロレト云黄金色花ノヘイフ
ヒンデルコロイトト云来リ根ハ黒クノ鬚多シ其枝地上ニ這蔓
シ又或ハ餘鬚ニ地中ニ得ルコアリ茎ノ外面ニ許多ノ葉
アリテ殆ト尋常ノヘイフヒンデルコロイトト云似タレハ軟ニシテ
灰色ヲ帯ヒ輝アリ其味ハ収斂ス其葉間ニ又他ノ小茎
アリ高ク一葉許諸方ニ散ス花ハ黄金色ニ又葉底
色ノ如クライケニス其甲アリ人若クノ小茎ニ若クハ
花ヲ結フハ是必凝固スルコト思フヨリハサク大ナリ

○子ハ重積ノアルトベシイレノコケア也シノ如ク其用法
ハヘイフヒンデルコロイトト云如シ○諸種ハ東邦ノ高山或
多ク其地ニ生ス野生ハ六月ノ季園生ハ七月華ク
オ四種ヲコロイペンテケレインヘイフヒンデルコロイトメットゲールブ
ルメレト云ヲテレレニベシタヘイルロレレイペンヌスフロレリユテラ
ト云一根数枝ヲ出シ地ニ依即ス葉ハ尋常ノヘイフヒンデル
ルコロイトト云如ク稍大キ高ク花ハ灰色ナラス其味モ始ニ燥
ニメ后香ヲ摩削ス其枝ヨリ別ニニノ茎ヲ生ス高ク一

「スハ子」其葉ハ前葉ヨリハ小ナリ其上面ニ許多ノ五出、
黄花極美ナルモソラ生コト前ニ云フ諸種ノ如シ又黄
カクトイヘシシラ其中ニ保ス〇子ハ微赤ト重疊ス
アルトベシイノ最初ノ如シ根ハ甚長ク堅シ外面黒ソ
細纖維アリ〇其枝ノ地上ニ這フモノ自ラ餘處ニ固結
シ有虫、滋蔓ス〇此草東邦及オヘイメンシ、甚多シ
是春華キ又別ニ一種ヲ生スルテ傍之アリ之ヲ黄金
色花ノ小似ヘイフヒゲルコイトト云フテシニ似タヘイル
ン

レイペンヌミユスアウレオフロレト云其枝ハ地上ニ蔓延ス
レ其葉緑キ又其花ガ紫ノ色ニ変ソ前品ヨリ
細シ葉狭ク糙クメ周回刻シ花ハ深黄金色ニ
餘ハ都テ前ノ諸種ニ似タリ

「アールトベシイ」^実標ノ「ハイフヒゲルコイト」是「クルレウス」記ス
ル才五種ニシテ「フテシ」ニ「ペンタヘイルロン」フラゲヘリユト
云テ「アールトベシイ」^実標ニシテ味フルナシ
「カ記」ル「ガ」ンセリイケ「或」ト見メンケルラ「状」ノ「ハイフ」
低外ノ

ヒゲルコイ」此分ニモロベルカ録スル諸種アリトイヘニ其
冗長キノ且前種ト殆ク齊クノ分別シ難ク以テ畧ス

主治 此草ヲ長服スレハ能ク忠氣及傳染氣ヲ拒ク

○此煎汁諸下血崩流ヲ治ス又痛風及膀胱痛ヲ治ス

又水鏡トシ用テ赤利及諸利ヲ治ス○此根酢ニ煮テ

直腸辺ニ貼患ハ「ゲレシ」及諸ノ疥癬ヲ治ス○此葉

蜜水或酒水ニ浸ス「一月」ニ「七日」續キ服スルキハ「瀉

痢」ヲ治ス○此葉ヲ搗キ貼メ損傷ヲ治ス塩及蜜ヲ和メ

痲癩。浸淫瘡。ヲ治ス○此葉ノ汁日々四十錢ヲ

服スルハ黄疽ヲ治スル「甚速」ナリ○「アリ」ニス「白」此根

ヲ「登」ニ煮服ノ赤利ヲ治ス加之又「ホ」ペラ「損失」スルヲ

治ス死スル「ミモ」アルカ不詳○此草ノ汁ニ「七」服スルキハ「乍」チ腹痛ヲ

知ス○此草ヲ搗キ「生」ハルケシ「リ」イケシヲ和シ「貼」メ指ノ

患瘡ヲ治ス○「甲」ロ「ユ」ウス「曰」ク「尚」此草ノ「異」功アリ此

葉ヲ酒及生ハルケシ「ス」ニ「メ」ルヲ和シ「木」杵「臼」ヲ以テ搗キ

復々古酒ヲ和シ「屢」メカシケル「ニ」貼セハ「劇」甚ク功アリテ

乍千道歩○此子ヲ搗キ油ヲ和シ口之ニ送ルハ氣
ノ不環ニ由テ足痛スルヲ三日ニテ治ス○此草内花ヲ
滌淨スルヘルモタテイリュスニ似タリ○ガレニユス曰此根
甚燥切アリ其熱ノ微タルカ爲ニ諸方法ニ多用テ
之ヲ治ス是其氣氣ノ微細ナルモ此少ノ刺戟ナキヲ以
テナリ○或人云此子功効ニトトルメニ子ルレノ如シト○
此子ノ露氷点前ノ諸症ニ大切アリ中ニモ之ヲ以テ
年ニ送リ乾スハ其子ヲ震搖ヲ治ス○此全州

内服外貼ノ出血及血利ヲ治スルニ大切アリ

撰修

凡ソ前ノ諸種宜クトバ子ウスレノ載スル処ノ

オ一二種ヲ用ルヘレ否レハ燥ス切ナレ何者此^ツ外クルレ
ウス^レローベル^レ載スル^レ処ノモノハ其切^ハイフヒレゲルコロイト
ニ似タルモアリ又似カレモノアリ我猶未メウヲ分^ラ了
マス宜ク其味ノ於^テ飲スルモノハ其切甚^ク遠カラズト知
ルハキナリ

オ三十三章

トルメンチルレ

アウレキナ 蝦夷地方言

形状

此草ヲトルメンチルレト名テテハイフシダルトコ

イトノ種類ニ等入ルハ其形状ノ如相似タルカ

為ナリ許クシノ茎アリテ細ク柔キノ直立スルコトク

地ニ低臥ス葉ハハイフシダルトコヨリ小ニシテ一処ニ

集掛スルヲ以テ其数多シ周圍ニ缺刻アリ花ハ

黄ナリ根ハ外黒の内赤太短シメ結節多シ

出所

好テ深林陰翳ノ地ニ生スル草多ク所及

陽氣通徹ノ処ニモ生スレバハニノ細シ

時侯 夏葦ノ採ルニ時ナシ收貯聽用ス

名義 此草今時乃今ヨリメダクハ前ハラテシニ之

ヲトルナシテララト云或ハ一茎ニ葉ニテケリシヤ

ハアタヘイルコンシラテンシセフテホリユムト云和葉ニセイ

ンブラートト云ノ義ナリホーゴドイツニビルクウラルツ

ト云フ○チヨスアリテスシタニケレイソゴノシノ第ヤオセ

リ曰クテクテテスルアクチフゲワスニソ花ハ花箭ニ用ル

ヘルバスキュムニ名ケラルコロイドニ似タリト照レトルメン

チルレハエーステルノ如ク直立スルヲナシテヨスアリテス

ナリステユスモヘルバスキュムニ種トナセ凡是ハラテシノイ

クニスレハモノニナヘルバスキュムトハ其花相似ズ何カケイ

クニスレハ我知ニ載スル如ク其花赤シ其形如花の色モ

其相違ハトルメンチルレトケレイソゴノシト相去ルヲ明

ナルヲ明シ

性質 根ハ劇毒ノ燥ニツオニ度ニ当ル且其氣

微細ニ僅少ノ熱アリ又サク收斂ス

主治

此子多分根ヲ美フモノハ是ハイフビシゲルコト

ト相似テ其切却テ勝レルカ為ナリ何則諸毒取ラ

拒リ大却アリ人ヲノ發汗セシム是以解毒瀉又ハ

傳深病ヲ拒ク薬劑ニ和シ用ユ○又身體諸部ノ出

血ヲ止ムニ大却アリ○此根ヲ水煎シ又ハ乾ノ糸トシ

一ニハ水液ダラシクシ入シ用ルハ前証ヲ治スルハ是

速ナリ○此根婦人ノ崩血ヲ止ム朝ニ内服ノミナラズ

外貼シ或ハ洗滌トシ又ハ自餘通良ノ活ニテ用ルモ

亦佳ナリ○又胃中水液多クノ衰弱スルヲ強壯ニ

シ乾燥セシメ且諸利及赤利ニ甚良ナリ○又高ヨリ

墜下或自餘ノ厄運ニ依テ損傷シ又ハ内部或ハ内

藏ノ損傷ニ良ナリ

所言

トヒメンテルニハ「ハイフビシゲルコト」ノ性質アリトイヘ

氏其水液ハ彼カ如ク高レカラス

或之白トルメンシル

有學士カロリユスルシウス「ヘコタヘイル

ロシ一名セイヘンブラートノ一種ヲ録ス或人之ヲトルシテ
カシバダト云々其切ノアルシミルラニ似タリノ稍多キカ
ニ我徒ハ之ヲアルシミルラノ為ニ説カン

名原

此子ヲトルシテト名ニ所以ノモノハ是子ノ根
及煎汁ノ毒痛ヲ散スルカ為ナリ是口ニテ語ニテ
シテレイキトルメントト云フニ我ナリ而毒蟲咬傷ノ痛ニ

貼ス

主治

此子ノ毒ヲ以テ著明ニ知ルベキモノハ是子ノ諸疾

痛、良カカ治ナリ何者毒瘍及毒蟲咬傷ヨリ来
ル疾痛ノ稍忍フベカラヤルモノヲ散ルス○或云トル
シテトルハ其切ト云々ニ甚近ト又諸説ニハ多ク
ヘイフヒゲルコロイトト云々似タリト是癩ヲ治スルニ甚タ
良ナリ○此子ノ汁毒毒ニ最稱スルモノハ是子ノ絞汁
ノ其毒ヲ驅散スルカ為ナリ○此根ヲ末シ赤利諸利吐
血ノ尿婦人崩血及諸般ノ血利ヲ治ス其熱ナキモノハ赤
葡萄ノ以テ服シ熱アルモノハ剛鉄水ヲ以テ服スヘシ○トル

メニテルレシソ業根氏ニ煮或ハ搗キ服スレハ田外ノ損傷ヲ治
シ肺肝ノ開塞ヲ開キ其破裂ヲ癒シ黄疸ヲ治ス○此
根末トナシ雞子黃ヲ和シ服ノ吐血崩流ヲ治シ且シキリテ
コレラレタルモノヲ治スルニ良ナリ○此根水煎シ服ノ口内ニ
含メハ其惡瘡ヲ治ス又之ヲ服ノ小兒ノ蟲ヲ殺ス○傳染
病流行ノ時ニ當テ此其ノ根ヲ以テエレクテユヤリムラ
住リ用ユ是傳染病就中傳染熱ヲ拒リカ為ナリ○若
小便閉塞スルニハ此ニウエキブレイン汁ヲ和シ服スヘシ

之ガ收斂ヲ以テ其腎膀之ヲ強壯ス○腫瘍
及癰ノ其膿膿ノ前ニ當テ用ルルハ其膿液ヲ拒クニ
甚良ナリ○トルメンキルハ凝血ヲ分利ス是以内症ノ
損傷及高ヨリ墜タルモノヲ治スルノ前ニ之ヲ処ノ如シ
○コレンデレヒユス云此其子痛風ヲ治スルハ劇ニ用ルルハ
モタクニテイレンレヲ用ルル如シ○此其子又小兒墮胎ヲ拒クニ
甚切ナリ○此其子炭水前ニ之ヲ諸病、甚切ナリ是
以イタリヤヒテハ之ヲハストルタレヲ和シテ或ハ汁ヲ服シ

小児ノ瘰癧シヤスキヲ拒ク又少ク酢ヲ和レ膏トナシ
腎乃自能ノ部ニ貼ス〇此子ヲ以テエイエルクノスケ
ンスレヲ佐リテ右ノ病ニ其良ナリ〇人モシ毒蟲ヲ食
ヒ或得深病ニ嬰リクダラント恐ルモノアラハ宜ク此根ヲ
末ノ晒ニ和レ又ハカルトベ子ヂクキユハ氷ガ許ヲ加テ
五分錢之一ヲ服最良ニツカシメ發汗ノ衣ヲ避ラ
ント歎スルニ至ラシムルハ大切アラントス

八十三

